



高円宮牌 ホッケー日本リーグ 【女子】 第5節 第 11 日

開催日時 5 月 17 日 (金) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

【試合結果】

<p>グラクソ・スミスクライン 勝点16 5勝1分3敗</p>	1	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	<p>山梨学院 CROWNING GLORIES 勝点7 2勝1分7敗</p>
<p>ソニーHC BRAVIA Ladies 勝点25 8勝1分</p>	4	$\begin{pmatrix} 4-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	<p>東海学院大学 勝点12 4勝6敗</p>
<p>コカ・コーラウエスト レッドスパークス 勝点25 8勝1分</p>	5	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 4-0 \end{pmatrix}$	0	<p>立命館大学ホリーズ 勝点6 2勝8敗</p>
<p>南都銀行 SHOOTING STARS 勝点19 6勝1分2敗</p>	3	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	<p>天理大学ベアーズ 勝点1 1分9敗</p>

グラクソ・スミスクライン 1 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 山梨学院
CROWNING GLORIES

勝点 16 勝点 7
5勝1分3敗 2勝1分7敗

得点	GSK→ 23分若柳
戦評	<p>GSKのセンターパスにより試合が開始された。序盤から両チームとも激しい攻防を繰り広げる。その中で、山梨は2・19分とPCを獲得。しかし、得点できずチャンスを活かしきれない。23分、GSKはFW#5土井が23m付近からサークル内にいた#10若柳にパス。若柳は落ち着いてヒットシュートを、ゴール左下に決め先制する。その後は落ち着いた試合展開が続き、1-0で前半を折り返す。</p> <p>後半、同点に追いつきたい山梨は、MF#1田中を中心にスピードのあるドリブルで攻撃を仕掛けるがGSKのDF陣に阻まれ得点することが出来ない。対するGSKも、前線からプレッシャーをかけ追加点を奪おうとするものの山梨GK#16笹木の好セーブに阻まれる。その後も攻守が激しく切り替わる試合展開が続くが、若い山梨の攻撃をGSKは巧みな試合運びで逃げきりこのまま試合終了。GSKが1-0で勝利し、勝点を16に伸ばした。</p>

テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	藤原利道
ジャッジ	飯田育子 西脇栄子		小原直也

ソニーHC BRAVIA Ladies 4 $\begin{pmatrix} 4-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 東海学院大学

勝点 25 勝点 12
8勝1分 4勝6敗

得点	ソニー→ 1分金、8分金、19分中島、21分金
戦評	<p>東海のセンターパスにより試合が開始された。ソニーは、試合開始早々FW#9金が切れのあるドリブルで東海DF陣を抜き去り、ゴール左下にリバースシュートを決め先制する。猛攻を仕掛けるソニーは8分にPCを獲得。キーパーが弾いたこぼれ球をまたもFW#9金が押し込み2-0とする。その後も、20・21分と立て続けに得点し4-0と一方的な展開となる。東海は、カウンター攻撃を仕掛けるもののコカ・コーラサークル内に侵入することが出来ない。ソニーは主導権を握り続け、前半を4-0で折り返した。</p> <p>後半も、ソニーの攻撃の時間が続くが、東海の粘り強いDFにより追加点を奪うことが出来ない。東海も反撃を試みるも、ソニーのDF陣に阻まれ得点することが出来ず試合終了。ソニーが力の差を見せつけ4-0で勝利し、勝点を25に伸ばした。</p>

テクニカルオフィサー	堀田光昭	アンパイア	細川祐司
ジャッジ	西脇栄子 飯田育子		高橋英行

コカコーラウエスト
レッドスパークス 5 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 4-0 \end{pmatrix}$ 0 立命館大学

勝点 25
8勝1分

勝点 6
2勝8敗

得点	コカ→ 1分加藤、36分駒澤、44分駒澤、51分湯田、57分駒澤
戦評	立命のセンターパスにより試合が開始された。コカは、試合開始早々FB#18李がドリブルでエンドラインをえぐりFW#13加藤にパス。加藤はリバースシュートをゴール右上に決め、先制する。反撃する立命は、カウンターからFW陣がキレのあるドリブルでコカのゴールを目指すが出点することが出来ない。その後は、一進一退の攻防を繰り返りひろげ両者譲らない展開が続く、1-0で前半を折り返す。 36分、コカのMF#11駒澤が立命サークル内でボールを奪い、GKを交わしてゴール左下にシュートを決め追加点。勢いに乗るコカは44分にPCを獲得。FB#18李の狙いすましたパスを、MF#11駒澤がタッチシュートで決め3-0とする。その後も、51・56分に得点し勝利を決定づける。一矢報いたい立命は59分に、PCを獲得するがGK#1吉川のセービングに阻まれる。終始ゲームの主導権を譲らなかったコカが5-0で勝利し、勝点を25に伸ばした。

テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	根岸郁美
ジャッジ	飯田育子 西脇栄子		竹内高広

南都銀行
SHOOTING STARS 3 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 19
6勝1分2敗

勝点 1
1分9敗

得点	南都→ 26分オウンゴール、41分野村、59分爲藤
戦評	南都のセンターパスにより試合が開始された。序盤から南都は猛攻を仕掛け、天理ゴールを再三脅かすものの天理の粘り強いDFにより得点することが出来ない。試合が動いたのは27分。南都FB#18小櫻のセンターリングは天理のオウンゴールを誘い南都が先制。その後も南都は優勢に試合運び、1-0で前半を折り返す。 後半も南都のペースで試合が進む。南都は41分、FW#9野村がサークル内で天理DFをかわし、ゴール左下にシュートを決め2-0とする。天理もカウンターからの素早い展開から攻撃を仕掛けるが南都DFに阻まれる。59分、南都はFB#3眞鍋がシュート。そのリバウンドをMF#8爲藤が冷静にゴール左下にヒットシュートを決め3-0と引き離す。終始押し気味で試合を進めた南都が勝利し、勝点を19に伸ばした。

テクニカルオフィサー	堀田光昭	アンパイア	壽山由樹
ジャッジ	西脇栄子 飯田育子		我妻順子